

学習課題(小学校6年生)

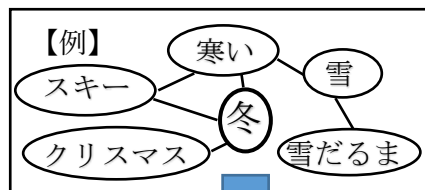


【国語】

〈学習内容〉

◆「冬のおとずれ」（教科書 182～183 ページ）に取り組みます。

(1) 「冬」という言葉から思い浮かぶものやイメージを右の例のように書き出します。



(2) さらに冬のイメージを広げるために、教科書に載っている二十四節気にじゅうしせつきのうちの一つを選び、イメージを右のように書き出します。



(3) 182～183 ページにある三つの短歌・俳句を読んで、自分のお気に入りをお一つ選びます。

選んだ短歌または俳句をノートや取組シート

に書き写して、気に入った理由をその横に書きましょう。

(4) (1)と(2)で集めた言葉などを使いながら、友達やお世話になった人に、冬の便りを書くように、自分の地域の「冬」の様子をノートや取組シートに書きましょう。

◆「詩を朗読してしょうかいしよう」（教科書 184～185 ページ）に取り組みます。

(1) 教科書 184～185 ページに載っている三つの詩を読み、お気に入りの詩をお一つ選び、朗読の練習をしましょう。練習した朗読をお家の人などに聞いてもらい、感想を聞いてみましょう。

(2) これまでに読んだことのある詩や詩集などから、自分の好きな詩をお一つ選び、ノートや取組シートに書き写し、朗読の練習をしましょう。その詩をどう読むか、朗読する時の工夫をその横に書きましょう。練習した朗読をお家の人などに聞いてもらい、感想を聞いてみましょう。



「音読」は、「正しく・はっきり・すらすら」と読めるようにすることが大事なポイントになりますが、
「朗読」は「読者が受け止めた作者の意図や作品の意味などを、意図に応じてさまざまに工夫し、表現性を高めて声に出す表現活動」です！どんな工夫ができるか、考えてみよう。

◆「仮名の由来」（教科書 186～188 ページ）に取り組みます。

(1) 教科書 186～187 ページを読み、「仮名の由来」について理解を深めましょう。教科書にのっている「うなぎ」や「おそば」の例のように、生活の中で「万葉仮名まんようがな」が使われているものを探して、ノートや取組シートに書きましょう。

- (2) 教科書 188 ページの一覧を見ながら、万葉仮名^{まんようがな}から平仮名^{ひらがな}・片仮名^{かたかな}への変化について理解を深めましょう。表を活用しながら、自分の名前や自分の好きなものなどを万葉仮名^{まんようがな}でノートや取組シートに書いてみましょう。

◆「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために」（教科書 189～198 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 189 ページのリード文を読み、学習についての見通しをもちます。教科書 190～195 ページを読み、「これからの社会をどう生きていくか」について、最初に考えたことをノートや取組シートに書いてみましょう。
- (2) それぞれの文章で、筆者が最も伝えたいことは何なのか、二つの文章を比べながら読み、それぞれの特徴について考え、ノートや取組シートに整理して書いてみましょう。

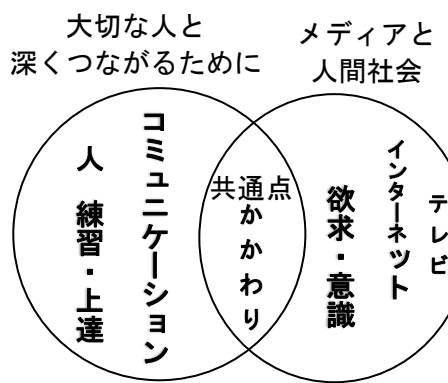
ワークシートのようにまとめて整理する例

その他	筆者の考え	表現の工夫	事例の挙げ方	論の展開や構成	
					メディアと人間社会
					大切な人と深くつながるために

自分の考えを伝える文章を書くときのために、二人の文章の特徴を整理してみよう。共通点や異なる点はあるかな？

筆者の考え方の「共通点」を整理してみよう。

ベン図を使って整理する例



※(2)以降の活動については、次回の「学習課題」で行います。

◆「漢字を正しく使えるように」で学習する新出漢字（「穀」～「宗」）を練習します。（読み方や書き順などは 304～305 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「冬のおとずれ」では、「冬の便りを書く」という活動を設定しています。実際に葉書を送ることができれば、より相手意識をもって文章を考えることができます。
- ・「詩を朗読してしょうかいしよう」では、自分のお気に入りの詩を朗読します。お気に入りの詩を探すのに苦労しているようでしたら、教科書だけでなく、詩集などが自宅にあれば活用したり、パソコンなどで調べたりしてみるのもよいです。
- ・「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために」では、教科書 P192、P195 に掲載されている QR コードから、筆者の動画を見ることができます。筆者の考えを捉えるときの参考になります。